

シリーズ 三郷学

〈三郷学の視点②〉

三郷学の視点

3. 今を知る (地域資源の発見)

写真は、みさと船着場花畑の中にある“ヒバリの巣”です。

この花畑は、三郷の地域資源である江戸川のほとりにあり、春になると色とりどりの花が咲き乱れます。江戸川の風景と花の色彩にヒバリのさえずりが趣きを添えているここは、なんと三郷駅から徒歩5分の場所。

三郷はヒバリが安心して子育てができる環境にありながら、さまざまな方面とつながるジャンクションを有することで交通の利便性が極めて高く、まちの中にある多彩なジャンルのお店が地域を活気づけている—まさに、生活利便性と自然の豊かさが共存する街です。



近年ではショッピングやスポーツを楽しむエリアが人気を博し、市外から鉄道や高速道路などを利用して訪れる人も増え、華やかなにぎわいをみせています。

豊かな自然と日常生活の利便性に加え、家族や友人と楽しく過ごすための施設も充実している三郷市。私たちは、素晴らしい地域に暮らしています。

三郷学では、これらの環境を構成するすべての要素を“地域資源”と捉えています。自然・交通・商業の他にも、歴史や文化など、まわりを見回してみると、たくさんの分野において“資源”を発見できます。この地域資源の発見は、地域がかえる課題解決にも役立ちます。

この先、未来の三郷を、私たちにとってより誇れる地域とするために、そこに暮らす人すべてが、地域資源の認識とその活用について考える必要があります。

今のこの素晴らしい環境をより良いものにするために、みなさんもまわりを見渡して地域の資源を探してみてください。“ヒバリの巣”が見つかるように、他にもたくさんの資源が隠れているはずですよ。